

# SUENAGA Groupとして CSR/SDGsの取り組みをSTART!

SUENAGA Groupは、これまでの各社のCSRの取り組みに加え  
2030年に向けて世界が合意したSDGs「持続可能な開発目標」に同意し、  
できることから取り組んで参ります。

## SUENAGA Development GOALS

私たちはSDGsをSUENAGA Development Goalsと  
言い換え、SUENAGA Groupの開発目標を定め、これから取り組みを進めたいと考えています。

**グループ各社のSDGsの取り組み**

SUENAGA Groupは総力をあげて17の開発目標に取り組んでいます。  
社会への貢献、SDGsへの貢献と積極的な企業経営を通して、  
自分たちの会社が、社会の一員として、もっともっと誇れる  
会社であることを目指し、CSR / SDGsへ取り組みます。

詳しくは CSR / SDGs サイトへ

### 各社CSR取り組みについて

## 岡山通運

詳しい岡山通運のCSR / SDGs情報はこちら



### 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

小竹 利征

- 一人一人がやりがいを持って働く職場を目指す
- グループが一つとなって大きな目標を達成できる職場を目指す
- 自分のためだけでなく、他人のため、社会のために貢献できるグループを目指す
- 小さな感謝をたくさん集めて、一つの大きな感謝をつくる



OKAYAMA  
TSUUN



JR貨物輸送のモーダルシフト  
を推進することで、大幅な二酸  
化炭素削減に挑みます。



JR貨物輸送により、トラック比で二  
酸化炭素の排出量が約90%削減  
可能と言われています。JR貨物輸  
送を増やすことで、地球温暖化に  
貢献するとともに、道路交通の混  
雑解消、労働力不足の解消も狙い  
ます。



トラックのアイドリングストップ  
推進で二酸化炭素や大気汚染  
物質の排出量削減を図ります。

アイドリングストップによる燃費の向  
上はわずかですが、年間約3,900L  
の燃料節約につながります。また窒  
素酸化物、硫黄酸化物などの削  
減、騒音抑制による地域住民の生  
活環境改善を図ります。

## 岡山土地倉庫

詳しい岡山土地倉庫のCSR / SDGs情報はこちら



### 岡山土地倉庫



### 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

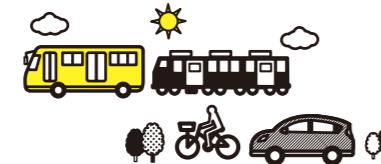
春森 悠里

- 最先端な取り組みやグループでしかできないことに挑戦したい
- 認知度が高い会社にしたい
- 働き甲斐のある会社づくり
- 誰でも意見が発言できる会社にしたい
- いつも働きたいと思える会社にしたい



モバイル端末の追加導入でペーバーレス化など  
コスト削減や業務の効率化を目指します。

リモート対応ができるモバイル端末を追加導入するこ  
とにより、コスト削減(交通費・ペーバーレス化等)、業務  
の効率化による生産性の向上はもちろんのこと、CS向  
上にも貢献します。



電気・燃料使用量の削減、「スマート通勤おかやま」  
参加の促進で、CO2の大幅削減を目指します。

目標を定め、電気使用量や燃料使用量の削減を行うこと  
で、各自の意識向上や経費削減につなげます。2022年  
7月の目標値に達すると、年間でトータル約55,700kgの  
CO2が削減できます。



バッテリー式フォークリフトの普及促進で、  
長寿や環境への負荷軽減を目指します。

バッテリー式に移行することにより、排気ガスを発生させること  
なく環境に配慮できるほか、寿命に伴い、現行の鉛バッテリーからリチウムイオンバッテリーの載せ替えを推進し、経費削減、長  
寿命、補水不要によるメンテナンスの簡易化を見込みます。

## 岡山トヨペット

詳しい岡山トヨペットのCSR / SDGs情報はこちら



### 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

宇田 龍也

- グループとしての共通のスローガン
- グループ社員全員が同じ方向を向いて進んでいくための旗印
- 変化していくモビリティ業界・物流業界で存続していくための指標
- 岡山の企業グループとしての認知度・企業価値の向上
- 働きやすい環境があって社員が定着してこそ企業が存続していく



勤怠管理システム  
導入で年間休日の  
完全取得を目指し  
スタッフの心身の  
健康促進を図ります。



CO2ニュートラル認定  
オイルを使用する  
「プレミアムバスポート」を  
新規設定、多くのお客様に  
共感いただくことで  
CO2削減に貢献します。

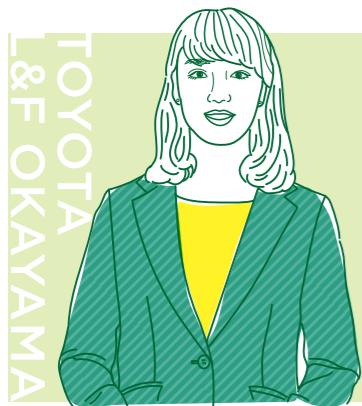


車に乗る人も  
乗らない人も  
安心で安全な  
クルマ社会を目指した  
交通安全教室などを  
積極開催します。

コロナ禍などで車に乗る機会が増えていると言われてい  
ます。岡山トヨペットがこれまで行ってきた交通安全教  
室、サポカー教室などを今まで以上に積極開催し、未来  
に安全安心なクルマ社会を目指します。

## トヨタL&amp;F岡山

詳しいトヨタL&amp;F岡山のCSR / SDGs情報はこちら



## 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

田中 千尋

- 生き抜くために
- 現状に満足しない
- リクルートのため
- 自然環境保護のため
- 地域貢献につながる
- 男女間の隔たりをなくす(社内)
- 生物のため
- 恩返しをするため



電動フォークリフト推進でCO2排出量の削減、騒音トラブル軽減などクリーンエネルギーへの切り替えを推進します。

お客様のご使用環境をお伺いして環境にやさしい電動フォークリフトをご提案し、拡販することでCO2排出量削減に貢献します。



全営業所の照明をLED化へ。CO2排出量の削減はもとより職場環境改善、廃棄コスト削減を目指します。



ペーパーレス化を推進とともにテレワークの持続的な実施で環境保護だけでなく、業務の効率化も図る。照明のLED化は、電気代削減、交換コスト削減、害虫対策、空調利用抑制、廃棄時の環境負荷低減につながります。これにより自然環境の改善だけでなく、職場環境改善にもつながると言えています。

## トヨタホーム岡山

詳しいトヨタホーム岡山のCSR / SDGs情報はこちら



## 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

藤井 美里

- この先も働きたいと思える、思ってもらえる会社にしたい
- 企業価値の向上(地域から必要とされる会社)
- 家族や友人に自慢ができる会社
- この会社に入社して良かったと思える会社
- グループとしてできることを最大限に活かしたい、活かせることをしたい



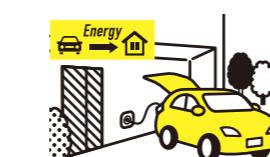
献血は命をつなぐCSR。献血の継続的な実施と、AEDの設置・講習会の受講継続を目指します。

建築現場は、どうしても労働災害で血液が必要になる職場です。労働災害ゼロを目指しますが、献血は命をつなぐCSRでもあると考え、減少している献血提供者数に歯止めを掛けたいと願っています。



さらなる長時間労働の削減、有休、育休取得の促進などを通じてワークライフバランスの充実を目指す。

これまで以上に、従業員のワークライフバランスの充実に向けた働き方改善を図り、さらに女性がもっと働きやすい環境づくりを進めます。これにより、トヨタホーム岡山で働く全員の満足度向上を目指します。



万一の自然災害にも家族が、地域が安心できる街であるために。

トヨタホーム岡山の建物は、避難場所と同じ「耐震等級3」。これに万一の場合も給電できるクルマと住まいをつなぐ非常時給電システムを組み合わせ普及させることで、被災時にも安心できる街づくりを目指します。

## トヨタレンタリース新岡山

詳しいトヨタレンタリース新岡山のCSR / SDGs情報はこちら



## 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

石坂 大翔

- 一日一円一人だと年間365円、国民全体だと460億「一人だと小さいことでも、大きいことになりうる」
- 社長でも、上司でもなく、皆がリーダー
- +αの営業活動(地場企業の強み、金額だけではなく付加価値の追加)
- 「ワーク・エンゲージメント」愛社精神、仕事に対してポジティブかつ充実している心理状態
- ES(従業員満足度)の向上は、CS(お客様満足度)の向上につながる
- 「TOCH」これからの岡山県、地域貢献のリーダーへ



ペーパーレスを50%推進。FAXレスなどのデジタル化による業務の効率化を。

業界的な慣習として、紙に頼りがちな環境の中、ペーパーレス50%を目指し推進します。またこれによりデジタル化を図り、紙の削減による自然環境改善だけでなく、セキュリティ強化など作業効率のアップを図ります。



スタッフの無事故意識向上により、お客様への交通安全の取り組み促進を醸成する。

スタッフの無事故・無違反を表彰するなど、意識改革を図り、お客様に対しても無事故キャンペーンを実施。修理代の削減はもとより、交通事故ゼロの安心安全なクルマ社会の実現を目指します。

## ジェームス岡山

詳しいジェームス岡山のCSR / SDGs情報はこちら



## 「SO」メンバーのSDGs取り組みへの想い

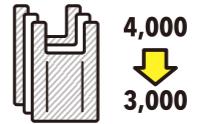
三村 将司

- 地球環境の保全のため、よりよい環境づくりのため  
「SO」メンバーとして何ができるかしっかり考え  
発言行動し未来につなげていきたい
- まずは、できることから少しづつ取り組み社内で展開・活動していくたい



業務効率の改善でペーパーレス化を推進。A4用紙75,000枚→50,000枚へ。

これまでどうしても事あるごとに紙に頼りがちだったプリント工数を削減。同時に業務の効率化を図ります。森林保護、廃棄資源の削減はもとより、情報漏洩防止にも役立てています。



脱プラスチックと海洋汚染防止を推進するレジ袋使用削減に努める。

2020年7月にスタートしたレジ袋有料化によりジェームスでは、レジ袋の年間使用量40,000枚から4,000枚へ削減されていましたが、さらに3,000枚への削減を推し進めます。またバイオマス配合のレジ袋を使用し環境保全に努めます。



# 「SO」メンバー達の活動と取り組み

## 何も分からぬ状態からのスタート

最初はCSR・SDGsについて何も分からぬまま集まり、どうして良いか分からず場の雰囲気もカチカチで、空気も流れていないうな緊張感の中、スタートを切りました。まずは事前準備として、グループ全体で基本的な知識を学ぶため、専門知識を持たれた外部講師による講習会を実施しました。

また、地元企業のお話を伺うべく、先進的なSDGs活動を行われている服部興業様をお招きし、実際の活動内容や推進体制などを拝聴し、取り組む意義などを教えていただきました。

そこから、幾度となくミーティングを重ねCSR・SDGsへの理解が深まり、「私たちが働く岡山にもっと貢献したい」「グループとして何かできないのか」となどと思うようになりました。

コロナ禍での活動でしたので、大変なことも多々ありましたが、回を重ねるにつれて、いつの間にか楽しい空気に包まれるようになり、自分たちが目指すべき方向が少しずつ定まってきた。

「地域の皆様の暮らしのそばにいる存在になること」これまで我々が強く願っていたことです。これからはグループとして持続可能な社会への支援を少しづつ展開したいと思います。

## 普段の業務がSDGsにつながっている気づき

取り組みを検討するにあたり、新しいことを実施するのではなく、日常業務やこれまで培った文化などに着目し、グループ各社の日常業務を棚卸し、SDGsとの関連付けを行いました。

棚卸していく中で、自分たちが日々行っている多くの業務がSDGsに関連していることに気づきました。

今までは何も思わなかった業務でも、SDGsにつながっていると知った時自分たちでも取り組めることはたくさんあると確信しました。



## これからもグループでできることへの挑戦

そして、私たちSOは、現在を知る中で、未来への欲求が芽生え、他人事ではなく自分事として一人一人が、この取り組みに向き合い、お互いの想いを共有・協調し合いながら歩んでいきたいと決意を固めることができました。まずは個社単位での取り組みを重点的にを行い、経験を積み重ね、PDCAサイクルを意識しながら目標達成を目指します。

まだ具体的なことは言えませんが、並行してグループ全体のスケールメリットを生かした取り組みも中長期計画として検討を進めており、廃棄されていたものから何かを生み出す再生や多様性のある街づくりへの貢献を目指し、検討しています。

これまでSUENAGA Groupを支えていただいた方々に、感謝の思いを込めて私たちの暮らす街が、いつまでも住みやすい街であるためにグループでできること、グループだからできることに挑戦していきたいです。